

Indonesia Weekly

2019年4月8日



(対象期間：2019/4/1～2019/4/5)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年4月5日)



【株式市場】

米中の通商協議の進展への期待などを背景に世界の株式市場が堅調となる中でインドネシア株式市場も堅調となりました。大型株を中心に外国人からの底堅い資金流入が見られました。また、利下げ期待の高まりから、不動産株も堅調となったほか、パーム油の在庫量低下を受けて、農業株も堅調となりました。

2019/3/29	2019/4/5	変化率
6,468.76	6,474.02	+0.08%

※4月3日は祝日のため休場。

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年4月5日)



【債券市場】

1日に発表された3月の消費者物価指数（CPI）は前年同月比+2.48%とインドネシア中央銀行のインフレ目標値の下限（同+2.5%）を下回り、2009年11月以来最も低い数字となりました。政府は4-6月期の国債発行目標額を129兆ルピアと発表しました。世界的に投資家心理が改善する中で、外国人投資家の堅調な資金流入が見られました。9日の国債入札で前回に引き続き、発行の増額が予想されているにもかかわらず、週末にかけて底堅い動きとなりました。

2019/3/29	2019/4/5	変化幅
7.633	7.573	-0.060

※4月3日は祝日のため休場。

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年4月5日)



【為替市場】

米中の通商協議の進展期待を背景に、新興国通貨は落ち着いた動きとなり、ルピアも外国人投資家の株、債券市場への資金流入などを背景に堅調となりました。一方でドル下落の局面では、国内の輸入業者からのドル買い需要が見られました。17日の大統領選挙を前に行われた直近の民間調査によると、現職のジョコ大統領の支持率は55.4%と対抗馬のプラボウォ氏の支持率34.4%を大きく上回っています。

2019/3/29	2019/4/5	変化率
0.7769	0.7894	+1.61%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号ノ加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

